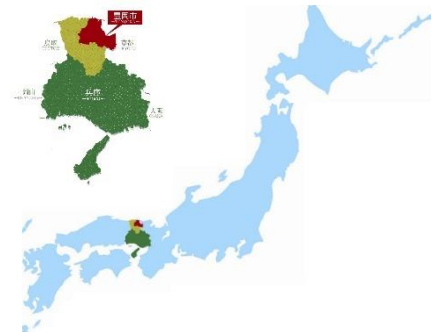




▲辰鼓楼(時計台)H29修理

(1) 保存地区の概要

地区名	豊岡市出石
種別	城下町
面積	23.1ヘクタール

選定年月日 平成19年12月4日

特徴 豊岡市出石伝統的建造物群保存地区は、兵庫県北部に位置し、慶長9年(1604)頃、有子山の麓に平山城(出石城)が築かれたことを契機に整備され、以後、但馬地方における政治・経済の中心地として栄えた。出石城跡や城下町の街路、町人地における敷地の間口など、文化7年(1810)の出石城下町絵図の状況をよく維持し、但馬地方における城下町の歴史的風致を現在に伝えている。

明治9年(1876)の大火により町の大半を焼失したが、江戸時代の地割の上に切妻平入の伝統的な町家等が建築され、近代の城下町とでもいふべきまちなみが形成されている。

(2) 保存地区のあゆみ

昭和62年度(1987)	・「内町都市核形成計画」策定 ・兵庫県「都市景観形成地区」指定(城下町地区62ha) ・景観ガイドライン策定 ・第1回「兵庫・町並みゼミ」出石大会開催
昭和63年度(1988)	・「旧城下町再生計画」策定 ・「出石城下町を活かす会」発足(186名)
平成元年度(1989)	「出石町HOPE計画(地域住宅計画)」策定
平成3年度(1991)	「町家デザインマニュアル」策定
平成5年度(1993)	・出石町歴史的地区環境整備街路(歴みち)事業調査 ・街なみ環境整備事業(～平成19年度)
平成6年度(1994)	「歴史街道整備プラン」策定
平成8年度(1996)	山名氏城跡(有子山・此隅山)国史跡指定
平成9年度(1997)	「文化財を活かしたモデル地域づくり推進計画」策定
平成10年度(1998)	出石町中心市街地活性化事業基本計画策定
平成12年度(2000) (～13年度)	伝統的建造物群保存地区保存対策調査
平成16年度(2004)	出石都市計画道路の見直しを決定
平成17年度(2005)	「保存条例」制定
平成19年度(2007)	・「出石伝建地区保存計画」策定 『重要伝統的建造物群保存地区』選定(12月)
平成20年度(2008)	伝建(修理・修景)事業開始
平成29年度(2017)	重伝建選定10周年記念シンポジウム開催

(3) 保存地区の
保存と整備

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計	実数
修理	4	5	7	5	5	4	4	5	4	3	2	4	2	4	58	55
修景					1	1				2	1		2		7	7
計	4	5	7	5	6	5	4	5	4	5	3	4	4	4	65	62

< 修理前 >

※実数(62件)内訳:【建築物】修理53件、修景6件、【工作物】修理2件、修景1件



(4) 保存地区の活用とまちづくり

重伝建選定前から、地域で定着している**四季折々の伝統行事**◆官民及び個人・団体を問わず、出石城下町の賑わいづくりは、これからもまちぐるみで受け継がれていきます



▼そば喰い大会(4月)

▼さくらまつり(4月)

▼きものまつり(10月)



▲初午祭(3月)



▼秋祭りけんかだんじり(10月)



▲歌舞伎お練り(11月)

▼お城まつり(11月)▼



▼土曜夜店(7～8月)

▼盆踊り大会(8月)



豊岡市出石(兵庫県)

(5) 住民等の取組

設計士集団「出石まちなみ設計士会」

平成19年12月4日の重伝建選定後、平成20年度から保存修理事業に着手◆伝統的建造物等を次代に継承するため、兵庫県ヘリテージマネージャー資格を有する設計士の集団「出石まちなみ設計士会」を平成20年5月29日に設立◆歴史的建造物の調査設計・工事監理にあたり、歴史的景観の保存整備に関する調査研究等を、保存地区の枠にとらわれず精力的に行っている。(R3.4月現在、24名)

出石伝統的町家外観デザイン集



伝統的建造物の平面・立面・断面図に加え、伝統的意匠の構成要素である、格子・建具・飾り窓・持送り等を実測し、部位別詳細図を多数掲載◆より高いレベルでの町並み保存に役立てるため、出石伝建地区独自の意匠・デザイン集を作成◆発刊時には記念フォーラムを行い、町家保全の普及啓発のため、基調講演やパネルディスカッションを開催

▶ ベンガラ研修



▶ 土壁研修



▶



▶ でんけん講演会



▶ 現地指導



▶ 焼き板学習会



▶ 修理現場見学会



▶ 視察研修

